【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【公開番号】特開2000-261391(P2000-261391A)
【公開日】平成12年9月22日(2000.9.22)
【出願番号】特願平11-58908
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｈ　7/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｈ　7/00

【手続補正書】
【提出日】平成15年8月21日(2003.8.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の入力信号を加算し入力加算信号を出力する入力加算手段と、
他のディジタルミキサから出力されるカスケード信号を入力するためのカスケード入力手段と、
前記入力加算信号とカスケード信号との加算信号又は前記入力加算信号をカスケード信号として出力するカスケード出力手段と、
前記加算信号又は入力加算信号か、或いは、前記カスケード入力手段により入力されるカスケード信号か、の何れかを切替え出力するスイッチ手段と、
このスイッチ手段から出力される信号をミキシング出力信号として出力するミキシング出力手段と
を具備することを特徴とする双方向カスケード接続ミキサ。
【請求項２】
前記ミキシング出力手段は、ミキシング出力信号の位相を調整するための遅延手段を備えることを特徴とする請求項１に記載の双方向カスケード接続ミキサ。
【請求項３】
さらに、
前記スイッチ手段の切替え及び前記遅延手段の遅延量を設定するための制御手段
を具備することを特徴とする請求項２に記載の双方向カスケード接続ミキサ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
この発明によると、複数の入力信号（１ｃｈ～ｎｃｈ）を加算し入力加算信号（Ｓｉ）を出力する入力加算手段（１２，２２）と、他のディジタルミキサから出力されるカスケード信号（Ｓｃ，ＴＬ）を入力するためのカスケード入力手段（ＣＩ，ＣＲ）と、入力加算信号（Ｓｉ）とカスケード信号（Ｓｃ）との加算信号（Ｓｉ＋Ｓｃ）又は入力加算信号（Ｓｉ）をカスケード信号（Ｓｃ，ＴＬ）として出力するカスケード出力手段（ＣＯ）と、

加算信号（Ｓｉ＋Ｓｃ）又は入力加算信号（Ｓｉ）か、或いは、カスケード入力手段（ＣＩ，ＣＲ）により入力されるカスケード信号（Ｓｃ，ＴＬ）か、の何れかを切替え出力するスイッチ手段（１５３・１５４，２５５，３２・３３，４２・４３）と、このスイッチ手段から出力される信号をミキシング出力信号（ＢＵＳ，ＯＵＴｍ・ＯＵＴ１～ＯＵＴｋ）として出力するミキシング出力手段（ＢＯ）とを具備する双方向カスケード接続ミキサが提供される。なお、括弧書きは、理解の便のために付加した実施例の参照記号である。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
〔作用〕
この発明による双方向カスケード接続ミキサでは、複数の入力チャンネルからの信号を加算した入力加算信号、或いは、この入力加算信号と他のディジタルミキサから出力されるカスケード信号との加算信号をカスケード出力として出力する。制御手段により切替え制御されるスイッチ手段は、当該ディジタルミキサがカスケードマスタかスレーブかに応じて、ミキシング出力段に与える信号を、加算信号又は入力加算信号か或いはカスケード信号かの何れかに切り替える。ミキシング出力段には、制御手段による設定に基づいて、各ディジタルミキサの間のミキシング出力信号間の位相差を調整するスイッチ遅延回路が設けられる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
【発明の効果】
以上説明したように、この発明の双方向カスケード接続ミキサでは、複数の入力チャンネルからの入力信号を加算した入力加算信号、或いは、この入力加算信号と他のディジタルミキサから出力されるカスケード信号との加算信号をカスケード出力として出力し、制御手段により切替え制御されるスイッチ手段によって、当該ディジタルミキサがカスケードマスタかスレーブかに応じて、ミキシング出力段に与える信号を、加算信号又は入力加算信号か或いはカスケード信号かの何れかに切り替え、ミキシング出力段には、制御手段による設定に基づいて、各ディジタルミキサの間のミキシング出力信号間の位相差を調整するスイッチ遅延回路が設けられる。